

2004 年度 学術交流支援資金報告書

研究課題名 授業用新レポートシステムの開発

関係者氏名と所属

有沢誠	環境情報学部
太田宏佑	政策・メディア研究科修士2年
大橋裕太郎	政策・メディア研究科修士1年
神垣さやか	環境情報学部4年
高橋準	総合政策学部3年

1. 目的

以前に開発した「ソフトウェア工学」の授業用レポート採点システムを実際に稼働させてみたところ、いくつか改善すべき点が見つかった。今回はそれらの点を改善した新たなレポートシステムを開発する。新レポートシステムは、2004 年度に実施された「情報数学 I」、「アルゴリズム論」、「ソフトウェア工学」で使用した。

2. これまでの問題点

これまでのシステムは主にユーザ側のユーザビリティの問題と管理者側のユーザビリティの問題とがあった。それらをまとめると以下ようになる。

□ ユーザ側の問題

- ・ 図表を挿入する時に手間がかかる

文章と一緒に図表もまとめて提出する際、これまでは文章と図表を別々にアップロードする必要があった。採点する際もそれらが別々に表示されていたせいで面倒であった。

□ 管理者側の問題

- ・ 精緻な採点がしづらい

特に部分的に採点を行いたい場合に画面を切り替える必要があった。

- ・ 全体と部分のスイッチングがうまくできない

全体のレポートと特定のレポートをスムーズに切り替えて見ることができない。あるレポートを見て他のものと比較しながら採点するのが難しい。

- ・ 精緻な採点がしづらい

特に、部分的に採点を行いたい場合、採点がしづらい。

- ・ マークがつけられない

模範的なレポートに対してマークをつける機能がない。マーキングができれば模範解答

として履修者にすばやく提示することができる。

上記の問題点を解決すべく、今回新レポートシステムを開発、運用した。

3. 新レポートシステム

次に、今回開発した新レポートシステムの概要について述べる。まず、履修者は自分の学籍番号と発行された独自の ID 番号を入力し、課題提出画面にログインする。履修者は文章を直接入力し、図表を入れたい場合はローカルファイルを指定してアップロードする。また、ファイルを Word や Power Point、PDF など他の形式で作成した場合もファイルをそのままアップロードすることができる。これまでのようにファイルを別々に提出する必要はなくなった（図 1）。



図 1：課題提出のページ

管理者は自分のログイン名と発行された独自の ID を使って課題管理画面にログインする。課題の出題、採点はこの画面から一括して行う（図 2）。履修者が提出した課題の提出状況は人目で見ることができる。設定した時間内に提出されていれば“○”、遅れて提出されていれば“遅”、提出されていなければ“×”で表示される（図 3）。

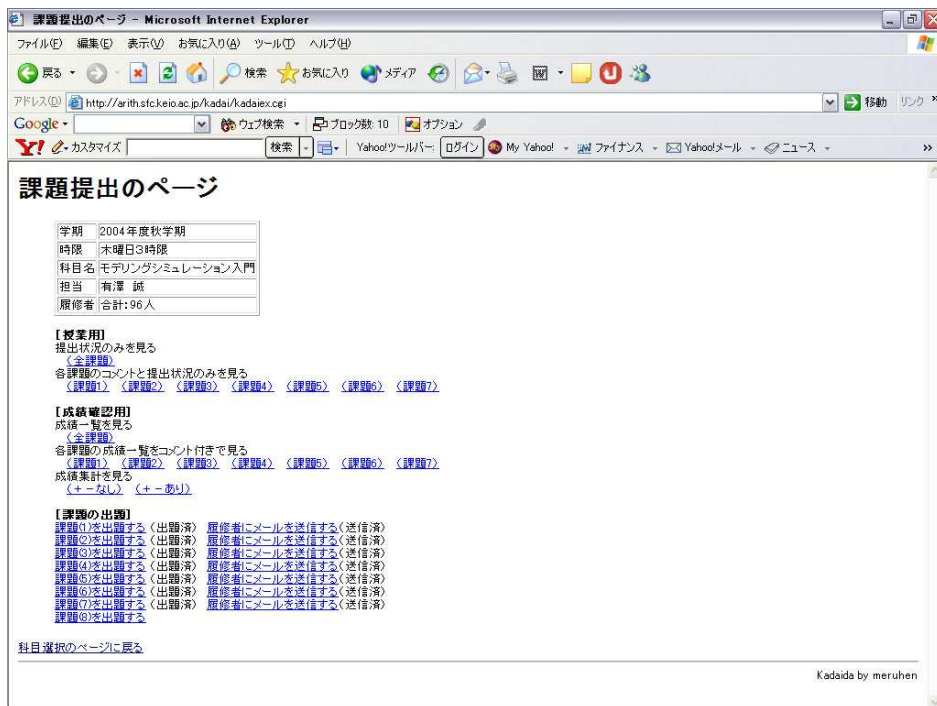


図 2：レポート管理画面

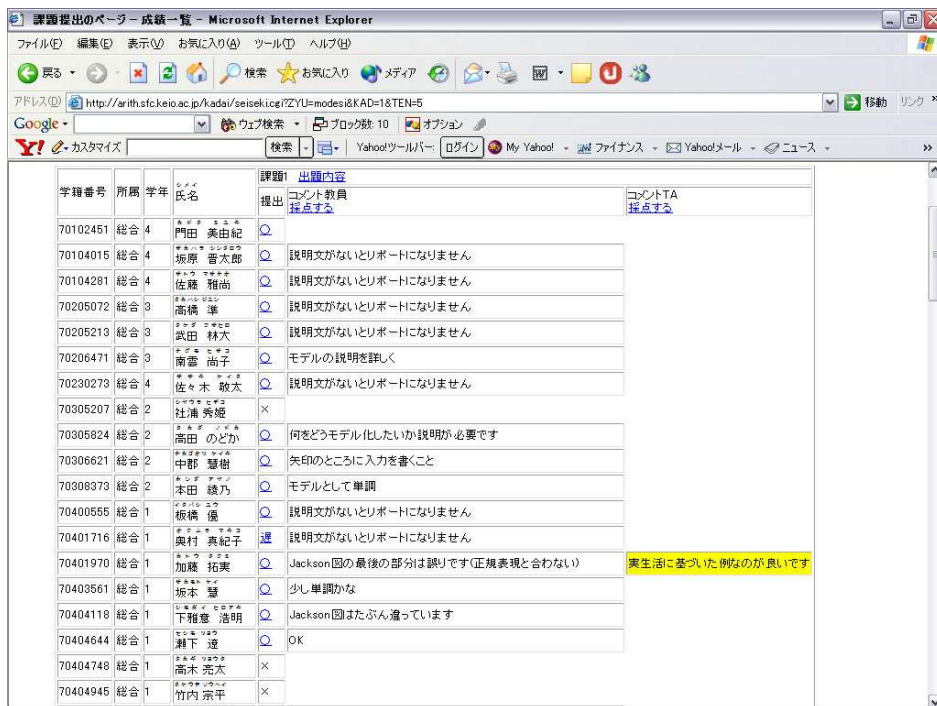


図 3：履修者の提出状況一覧

採点は各回ごとに、先生、院生が別々に評価をつける。全体を見渡しながら部分的に採点することが可能になった。また、模範的な回答に対してマークをつけることができるようになった。